

「匠の技」伝承システムを活用した若手生産者の育成」

杵島農業振興センター

【背景・取組内容】

キュウリ栽培における高収量化を図るためには、定植後から摘心までの初期の樹づくりが重要となります。そこで、熟練農家の技術をデジタル化した学習支援システムである「匠の技伝承システム」を活用して、白石地区キュウリ部会における栽培技術向上勉強会を開催しました。

【得られた成果】

定植前に匠の技を学んだことで、充実した樹づくりを行うことができ、収量の増加につなげることができました。

【見えてきた課題、今後の展望など】

県内のキュウリ産地で活用し、若手生産者の技術向上および匠の技術を他の農家や次世代生産者につなげていきます。



匠の技伝承システムを用いた勉強会の様子